



おおさかミュージアムトリップ

中之島



大阪中之島美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1
 大阪市立科学館 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
 大阪市立東洋陶磁美術館 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26

天王寺



大阪市立美術館 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82(天王寺公園内)

大阪城



大阪歴史博物館 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

長居



大阪市立自然史博物館 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23

地方独立行政法人大阪市博物館機構 Administrative Agency for Osaka City Museums

お問い合わせ先 所在地：〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 大阪歴史博物館内
 電話：06-6940-4330(代表) FAX：06-6940-0551

令和5年度日本博2.0事業(補助型)(独立行政法人日本芸術文化振興会/文化庁)

大阪博詳細はこちら



日本博詳細はこちら



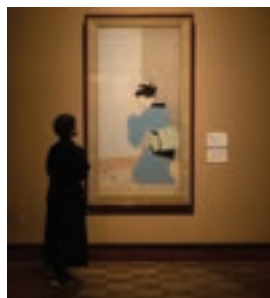
大阪の宝が今、姿を現す。

2025年大阪・関西万博に合わせて、大阪市立美術館・大阪市立自然史博物館・大阪市立東洋陶磁美術館・大阪市立科学館・大阪歴史博物館・大阪中之島美術館の6館では、「大阪博」を開催します。大阪には、古代から現代に至るまで、都市の繁栄とともに先人たちが収集、継承されてきた「大阪の宝」があります。今回はその中でも、特にその収集に関わった先人や継承の履歴を通じて、それらを育んできた都市大阪の魅力を体感できるような代表的な作品120点を「大阪の宝」として選定し、「大阪博」で披露します。新たな知的好奇心を呼び起こす「大阪の宝」web展覧会をはじめ、ミュージアムを巡って遊ぶプランや観光情報など、多彩なコンテンツを発信します。大阪に暮らす人々と、この街に集う人々のためのミュージアムが開催する「大阪博」。本誌では6館の見どころをご紹介します。文化都市・大阪に残されてきた宝との出逢いと、人々が紡ぎ出してきた街にあふれる大阪の力を、どうぞお楽しみください。

大阪市立美術館

Osaka City Museum of Fine Arts

大阪の天王寺にある大阪市立美術館は、歴史的な建物と豊富なコレクションを誇る魅力的な場所です。美しい大理石で飾られた建物は、世界恐慌や自然災害を乗り越えて、1936年にオープン。美術館内には遠国からの貴重な美術品からアジアの宝物までが展示され、特にアジアの古代美術が注目を



集めています。約8,500件の館蔵品と社寺などからお預かりしている作品を随時展示し、日本の美術の発展に貢献しています。また、美術館周辺にはのんびりできる芝生エリアとレストランもあり、アートと文化を存分に楽しむことができる場所となっています。



リニューアルイメージ図



電話番号：06-6771-4874
開館時間：9:30～17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、年末年始
休館期間:2022年9月26日～2025年春ごろ

大阪市立自然史博物館

Osaka Museum of Natural History

大阪市立自然史博物館は、長居公園内にあり、およそ1万点のコレクションを展示しています。ナガスクジラ、ザトウクジラ、マッコウクジラの骨格標本やナウマンゾウの復元模型が圧倒的な存在感を放ち、自然と人間の共存の歴史を探求しています。さらに、外来種問題に焦点を当てる展示もあります。博物館は教育的なイベントや自然観察会を通じて自然保護の重要性を広めており、地域社会に深く根ざした存在として活



動しています。大阪市立自然史博物館は、都会の中で自然を感じられるオアシス。ぜひ、この場所でしか味わえない探求の旅に出かけてみてください。

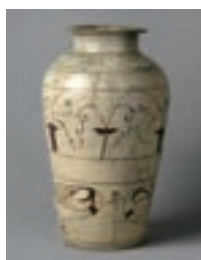


電話番号：06-6697-6221
開館時間：9:30～17:00
(11～2月は16:30閉館)
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、年末年始

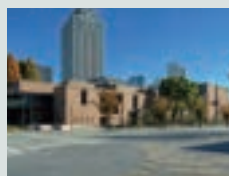
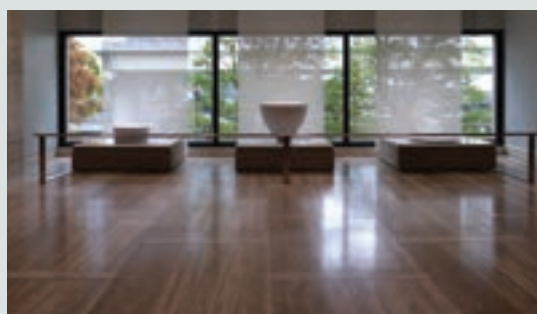
大阪市立東洋陶磁美術館

The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

大阪市立東洋陶磁美術館は、陶磁器の宝庫で、中国や韓国、日本の美しいコレクションが展示されています。安宅コレクションをはじめとする宝物が、住友グループの協力によって大阪市へ寄贈されました。国宝や重要文化財も含まれています。コレクションはさらに増え、李秉昌コレクション韓国陶磁が加わり、日本の作品も収集され、5,732点に達します。常設展示では、時代や技法に基づいて展示されるほか、特別展も行われ、現代の陶磁作家の作品も楽しめます。中国の陶磁器は鮮やかな色彩を、韓国と日本の作品は静謐な雰囲気



で鑑賞できます。芸術と歴史が織りなす大阪市立東洋陶磁美術館の空間で、豊かな時間をお過ごしください。



電話番号：06-6223-0055
開館時間：9:30～17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、展示替期間、年末年始
休館期間:2022年2月7日～2024年春ごろ

大阪市立科学館

Osaka Science Museum

大阪市立科学館は、大阪の科学の拠点で、未来の科学者たちの好奇心を刺激する場所です。子どもから大人まで科学の現象に触れる場として開館し、展示エリアはわくわくが詰まった実験室のよう。4階では宇宙の神秘を体験でき、2022年に生まれ変わったプラネタリウムもあります。プラネタリウムは座席を



リクライニングして宇宙を体験でき、スタッフの解説も楽しめます。日本で最初のロボット学天則の模型や日本人初のノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士の資料を見ることができます。カフェやミュージアムショップもあり、科学の魅力を満喫できる場所です。ここでしかできない体験を、ぜひ楽しんでください。



電話番号：06-6444-5656
開館時間：9:30～17:00
(展示場の発券・入場は16:30まで、プラネタリウム最終投影は16:00から)
休館日：月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休館あり
休館期間:2023年11月6日～2024年夏

大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

大阪歴史博物館は、緑豊かな大阪城公園と難波宮跡公園に隣接して建つ博物館です。古代から中世・近世、そして近代・現代にいたる「都市おおさか」の歩みを、豊富な実物資料や原寸大復元・ミニチュア模型・映像によって展示しています。奈良時代の難波宮の大極殿、大正末期～昭和初期の心齋橋筋・道頓堀などの街角をリアルに再現し、昔のおおさかにタイムス



リップしたような感覚が味わえます。美しい大阪城の姿や難波宮跡公園の全景が眺められる最上階は、フォトスポットでもあります。大阪の歴史と文化を探求できる博物館で、その魅力を体験してみてください。



電話番号：06-6946-5728
開館時間：9:30～17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日：火曜日(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始

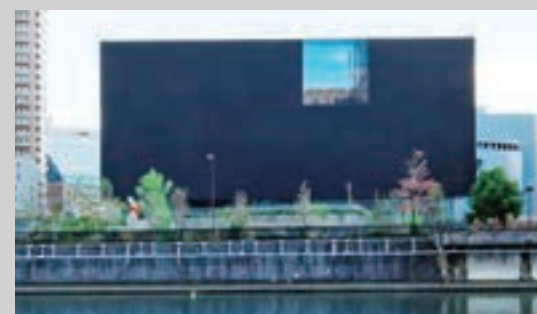
大阪中之島美術館

Nakanoshima Museum of Art, Osaka

大阪中之島美術館は、19世紀後半から今日に至る日本と世界の優れた美術とデザインを核としながら、地元大阪の豊かな芸術活動にも目を向け、6,000点を超えるコレクションを所蔵しています。建物は館内に立体的に計画された“パッサージュ”によってくり抜かれ、昼夜問わず開かれた公共空間として人々を迎え入れます。「さまざまな人と活動が交錯する都市のよう



な美術館」をコンセプトに、誰もが気軽に訪れ、くつろぎ、触発される美術館をめざしています。



電話番号：06-6479-0550
開館時間：10:00～17:00
(入場は閉館の30分前まで)
休館日：月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、展示替期間、年末年始